

農業委員推薦・応募状況

No.	推薦 応募	候補者名	年齢	性別	職業	主たる 農業経営	経歴	認定 農業者	推薦団体及び代表者	活動の主たる目的	推薦・応募の理由	最適化推 進委員の 応募状況
1	推薦	吉沢 尚広	68	男	農業	野菜 花卉	飯田中央農協職員 JAみなみ信州農協職員 飯田市農業委員 専業農家	非該当	JAみなみ信州飯田支所 農家組合長会 会長 三村 諭吉	地域のコミュニケー ションと地域農業の活 性化を図る	長年に亘りJAみなみ信州農協の職員として勤務し、豊富な経験と知識を持つ。 現在、農業に従事し、地域の信頼も厚く農業委員に最適である。	なし
2	推薦	北原 穰	66	男	農業	果樹 (桃・柿)	長野県農業共済組合勤務 専業農家	非該当	座光寺地域自治会 会長 牧野 光彰	地域自治組織	長年、長野県農業共済組合に勤務し、地域住民の信望も厚く、その知見を活用し た農業委員としての活躍が期待される。	なし
3	推薦	北原 義治	65	男	農業	果樹 (ぶどう・柿・ もも・りんご)	JAみなみ信州農協職員 飯田市農地利用最適化推進委員 専業農家	該当	農業委員及び農地利用最適 化推進委員の推薦に係る選 考会議 委員長 北原 重光 (上郷地域まちづくり委員会 会長)	飯田市農業委員会の 農業委員及び農地利用 最適化推進委員の 候補者の選定及び推 薦	農協職員として長年勤務し、その間地域の農業振興に尽力された。専業農家の一 方で、みなみ信州農協果樹部会上郷支部長として携わり、地区の果樹農業振興を けん引された。 令和5年7月からは農地利用最適化推進委員として農業振興に尽力し、その知見 と熱意を地域農業振興に発揮されたく、推薦する。	なし
4	推薦	牧野内 康裕	69	男	農業	野菜 果樹	JAみなみ信州農協理事 飯田市農地利用最適化推進委員 専業農家	非該当	県地区まちづくり委員会 会長 奥村 充由	地域自治組織	平成26年から令和7年まで、長年に亘りみなみ信州農協の理事を担う。 農業全般及び県地区の農業事情に精通しており、地域での人望も厚い事から、適 任者として推薦する。	なし
5	推薦	下平 昇	70	男	農業	水稲、ミント マト、ブルー ベリー	飯田市農地利用最適化推進委員 専業農家	該当	竜丘地域自治会 会長 小林 伸	地域自治組織	農業に関係する会社に長年に亘り勤務しながら農業に従事されてきた。農業に関 する知識も豊富で地域の実情を把握している。 氏子総代として取りまとめを行っており、地域活動に積極的に取り組んでいる。 真摯な姿勢で農業に取り組んでおり、農業委員として十分に力を発揮できる人物と して推薦する。	なし
6	推薦	関島 忠夫	61	男	農業	水稲 ぶどう	下伊那郡土木技術センター組合勤務 川路まちづくり委員会分館主事 川路まちづくり委員会建設安全委員会委員 川路まちづくり委員会安全推進委員会委員 専業農家	該当	川路まちづくり委員会 会長 久保田 聖昭	地域自治組織	土木・建設分野を中心に長年に亘り行政職に就き、定年を期に就農する 現在は、地域の水田耕作の委託を受け、水稲とぶどう栽培を行っている専業農家 である。 また、NPO法人へも加入し、地域荒廃農地対策などに参画しているほか、まちづく り委員会の分館主事その他の委員職を歴任、地域における信頼も厚い。 地域づくりの中心的な役割を果たされていることから、推薦する。	なし
7	推薦	宮崎 光由	57	男	農業	米 柿 梅 花卉	農業後継者団体「MIHOの会」代表 JA三種青年の会会長 飯田市農業委員 専業農家	該当	三種まちづくり委員会 会長 荒井 三千秋	地域自治組織	飯田市農業委員を3期勤められ、農地利用に関する知識が豊富である。 農地等の利用の最適化の推進に関する事項、その他の農業委員会の所掌に属す る事項に關し、その職務を適切に行うことができる。 農業委員として最適な人物であり推薦する。	なし
8	推薦	長沼 佳幸	73	男	農業	水稲 野菜 果樹	上久堅地区まちづくり委員会総務文教委員長 公民館小野子分館分館長 専業農家	非該当	上久堅地区まちづくり委員会 会長 原 雅彦	地域自治組織	上久堅地区まちづくり委員会の総務文教委員長を2期4年歴任し、現在は公民館 分館長を務めている。 地域における人望が厚く、適任者として推薦する	なし
9	応募	青木 龍男	73	男	一般社団法人 非常勤職員	なし	県町職員 飯田市職員 飯田市臨時職員 (一社)長野県農業会議非常勤職員 (農地相談員) 飯田市農業委員	非該当			農業の将来像ともいえる地域計画が策定された中、農業を取り巻く諸情勢の厳しさ は相変わらず、多くの課題が農業者をはじめ関係者に覆い被さっている。こうした 中、農地の集積・集約化と農業を支える担い手確保・育成は、喫緊の課題と考 える。 一方、農地の転用等開発に関する問題も併せて地域農業を考えるうえで、大きな 課題となっている。 こうした情勢を農業者等には勿論、農業者でない市民の方々へも適切に提供し理 解を得ることは重要であると考え。 令和5年から農業委員として1期務めさせていただき、この間の経験や非農家の立 場また、長野県農業会議農地相談員として県下の農業委員会の相談窓口の経験 を活かし、中立農業委員として、今期においても農業委員会活動を通じ、市の農業 情勢に微力ながら貢献したいと考え、農業委員会の委員に応募する。	なし